

令和5年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立平井東小学校

校長名 大辻 隆夫

名称:総合

学校の教育目標	・考える子ども(重点目標) ・助け合う子ども ・じょうぶな子ども ・進んで取り組む子ども
---------	--

国が示す総合的な学習の時間の目標
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標
1 横断的・総合的な学習や探究的な学習をする。 2 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決できるようにする。 3 対象に積極的に関り、互いに学び合い、課題を追求する力を養う。

育てようとする資質や能力及び態度	
知識・技能	
第3・4学年	第5・6学年
・問題状況の中から課題を発見し、設定する。 ・必要な情報を収集し分析する。	・解決の方法や手順を考え、見通しを持って計画する。 ・多様な情報の中にある特徴を見付ける。
思考・判断・表現	
第3・4学年	第5・6学年
・相手や目的に応じてわかりやすくまとめ、表現する。 ・自己の生活のあり方を見直し、実践する。	・他者と協同して課題を解決する。 ・地域や世界の一員としての自覚を持ち、よりよい生活を送る工夫をする。
主体的に学習に取り組む態度	
第3・4学年	第5・6学年
・自己の行為について意志決定する。 ・自己の生活のあり方を見直し、実践する。	・目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。 ・自己の将来を考え、夢や希望を持つ。

内 容	学習対象	学習事項
第3学年	・地域に暮らす人々が大切にしている文化や価値観及び荒川学習	・地域の文化や伝統のもつ特徴やその継承に力を注ぐ人々
第4学年	・荒川を初めとする身近な自然環境とそこに起きている環境問題	・身近な自然の存在とそのよさ。 ・環境問題と自分たちの生活とのかかわり ・荒川の洪水から身を守る。(ハザードマップの活用)
第5学年	・情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費活動の変化及び荒川学習	・自分に必要な情報の収集と選択(ネットモラルを含む) ・情報の日常化と発信
第6学年	・世界の様々な国の歴史や文化と日本とのかかわり及び荒川学習	・世界各国の歴史や文化の理解と尊重。 ・世界における日本の果たす役割や温暖化対策

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・3、4年生は環境、5年生は情報、6年生は国際理解を主なテーマとする。 ・全学年が荒川を初めとする環境学習を年間を通して取り組み、地域の自然を愛する心を育てる。	・児童の課題意識を連続・発展させる支援 ・個に応じた支援の工夫 ・協同的な学習活動の充実	・チームティーチングの日常化 ・地域学習のための市民団体との連携 ・担任外の教職員やゲストティーチャーによる支援体制の樹立	・ポートフォリオを活用した評価の充実 ・観点別学習状況を把握するための評価基準の設定 ・個人内評価の重視